

日本史学者と楽しむ「鎌倉殿の13人」

今年のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」は、三谷幸喜さんの脚本による斬新な人物造形もあり、話題になっています。ただ、一般視聴者の皆さんは、どこまでがドラマの創作で、どこが史実なのか気になるころです。本講座では史実を解説し、ドラマの創作部分を説明しますので、安心してドラマの展開を楽しめるようになります。

火曜日開講

13:30～15:00

- | | | |
|---|--------|-----------------|
| 1 | 10月18日 | 「史実」と「物語」のはざま |
| 2 | 11月15日 | みなさんの疑問におこたえします |
-

講師

曾我 良成

名古屋学院大学国際文化学部(国際日本学専攻)教授。元河合塾広島校・福岡校講師。

日本古代中世の政治・文化専攻。

『物語がつくった驕れる平家』(臨川書店刊)において、史実と物語の創作の区別を行っています。

講義の対象

ドラマを視聴している方、この時代に関心がある方

受講者へのメッセージ

時代劇がヒットすると、たとえば水戸黄門が全国を漫遊したなど、そのドラマの人物造形がそのまま史実のように受けとられてしまいます。ドラマを御覧になって、これ本当にそうなの？とか、これってどうなっているの？という点がありましたら、メモを取っておいて下さい。多数の方の疑問点や史実理解の根本に関わる点について解説をしたいと思っています。

定員

15名

受講料

2,000円